

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス・アキュドライブ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.494	△RG 0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ナノデス・アキュドライブ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：ナノデス・アキュライズX

フレアーの幅 インチ

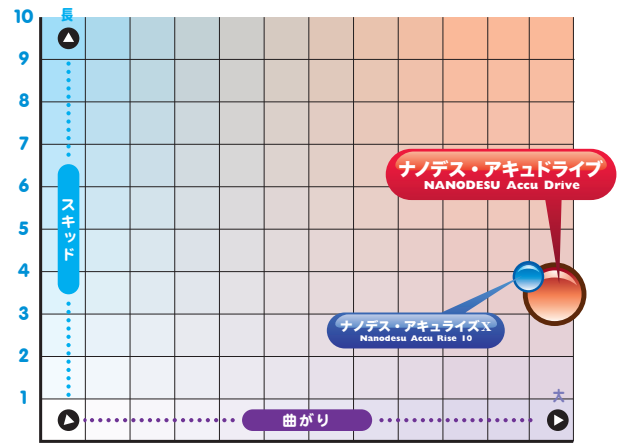
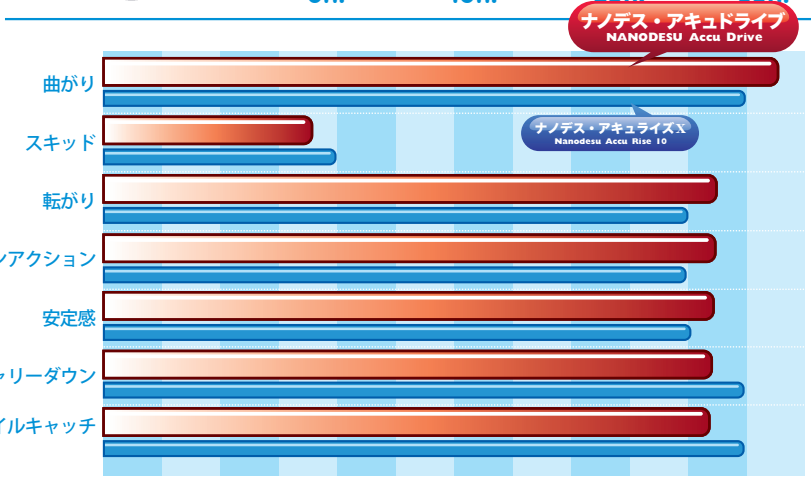
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

2017年12月の初代Accu Riseから本格始動した革新的なNano-Thaneカバーストックは、歴代ナノデスシリーズで使用されてきたウレタン素材を使わないNANOXYやAVEXカバーストックを進化させた素材で、リアクティブよりオイルキャッチとドライゾーンの摩擦を生み出すことができました。そのアキュライズシリーズも好評のうちに10作目を生み出し、アキュライズシリーズは完結。新たにAccu Drive(アキュドライブ)として新ナノデスシリーズが始動します。

Accu Drive 1作目に相応しく、カバーもコアもすべてにおいて一新しました。Nano-Thane 3.5 Pearlに新たな特殊添加物を配合した新しいカバーストックは、特殊添加剤で摩擦係数が格段にアップし3.5 Pearlのキャッチそのものをグレードアップさせていて、走りのなかに粘り強いキャッチを出し、同時にドライゾーンの反応も鋭くなっています。左右比重の違うものを組み合わせた新しい非対称コアは、大きなネジレを得ながらしっかりとした動きを感じられるようにMB数値を中間にセットして、摩擦を受けてから曲がりの持続性と共にキレを感じられる仕様です。印象に残るのがフリップ状の柔らかいキレ感ですが、やんわり曲がるのではなく、俊敏に柔らかくキレルイメージがあります。特にオイルを抜けてからの反応の良さは非常によく、暴れる感じの曲がりではなくコントロールできる曲がり、俊敏さと扱いやすさを兼ね備えた仕上がりです。

このコアもしかり、このカバーもしかりで、このコアと他のカバーで投げたくもなるし、このカバーで他のコアも投げたくもなるようなコアとカバー双方に魅力を感じるのも、なぜこのスペックがAccu Driveになったのかは性能で示せるでしょう。

特記事項

特殊添加剤と新開発コアとの組み合わせは、新しいナノデスシリーズがスタートするに相応しい出来です。柔らかくキレのある反応の良いリアクションを感じていただけると幸いです。